

N-LIFE

想造カンパニー日商インターライフの匠たち



商環境本部CS一部プロモーション課

青塚 祐介

AOTSUKA YUSUKE

プロモーション業務に日々力を注いでいる青塚祐介。展示会ブースの企画・デザインから設営までを一手に担うプロフェッショナルでありながら、内装工事分野にも積極的に関与する「ハイブリッド型」の姿勢は、社内でも異彩を放っている。グループ会社からの復帰という独自のキャリアを経てなお挑戦を続ける青塚の、仕事への思いと未来への展望に迫った。

独自のキャリアが導いた今の働き方

2022年に株式会社日商インターライフへ中途入社した青塚は、かつて同社に在籍し、グループ会社への異動や退職、さらには起業準備まで経験した異色のキャリアの持ち主である。六本木のデベロッパーに勤務していた時期には、展望台やミュージアムの運営に携わり、2020年にはベトナム

ムでのビジネスの立ち上げを計画していた。しかし、コロナ禍により断念し、国内に戻ってからも複数の職を経た後、旧知の同僚の誘いをきっかけに、再び日商インターライフへ。紆余曲折を経て戻ってきたこの場所で、かつての経験を活かしつつも新たな気持ちで業務に取り組み、以前とは異なる視点で会社の強みや可能性を見出している。

ワンストップサービスの構築を目指して

現在、プロモーション課に所属する青塚は、5名のチームの一員として主にカプコン社の新さっぽろ店から南のエリアを担当。展示会ブースのコンセプト作成やデザイン提案、設営までを一貫して手がける。特徴的なのは、プロモーション領域にとどまらず、内装工事の営業にも積極的に関与



▲幼稚園入園時

▲15歳当時

している点だ。

「店舗づくりにおいて、内装とプロモーションが分断されるのはもったいないと感じます。どちらもセットで請け負えば、お客様の負担も減りますし、我々の強みにもなるでしょう」。

内装とプロモーションが区別されているのは、あくまで社内の部門が分けられているから。あくまでお客様の視点からサービスを提供すべきだというのが、青塚の信念だ。この熱い思いが、顧客に対して内装工事の提案も行う「ハイブリッド型」の営業スタイルを体現している。一見すると異なる業種に見える両分野を融合させ、顧客ニーズに合わせた柔軟な提案を可能にしている点は、他のメンバーにとっても良い刺激だ。

自らの役割を広げる意識と行動

プロモーション担当でありながら、なぜそこまで内装工事にも関与するのか。その背景には、「自分の領域にこだわらず、会社全体の成果を見据えたい」という強い意識がある。

内装に関する知識が不足していると感じた青塚は、設計関連の書籍を読み込み、休日には話題の商業施設を視察するなど、地道なインプットを積み重ねてきた。実際に、既存の顧客に内装工事を

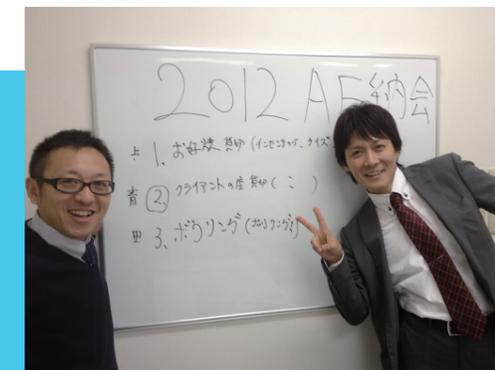
紹介したことで、案件化につながった例もあり、その積極性と行動力は社内でも高く評価されている。

見据える未来へ向かって

青塚の目標は、プロモーション課の「部」への昇格だ。独立した部門となることで、より大きなプロジェクトの獲得やチーム強化が可能となる。売り上げや利益の向上を図るだけでなく、社外への認知度を高めることも視野に入れている。また、プロモーションと内装工事を融合させた「ワンストップサービス」を推進し、顧客から選ばれる存在であり続けることが目標だ。

さらに、社内の若手メンバーに対しても、自身の経験や考え方を積極的に共有し、成長のきっかけを提供していきたいと考えている。

プロモーションと内装工事という異なる領域を自らの行動でつなげ、新しい働き方を体現する青塚。その根底には、自分だけでなく「会社全体にとって何が最善か」を見据える広い視野がある。組織の枠にとらわれず、着実に信頼を築いてきた青塚は、これからも日商インターライフの未来を牽引する存在として、さらなる進化を続けていこう。



▲前社時代(32歳)現在も取引先として交友がある上原氏と

現場から学ぶ

ピーパーク千葉改装工事

どのように作業を進めているのか、課題は何なのか、それをどうやって解決したのか。様々な現場をクローズアップして紹介するこの企画。今回はパチンコ店の改装・外装を担当した新井さんに、現場で得た経験やノウハウを語っていただきました。



商環境本部 CS一部 一課
課長

あら い しゅうさく
新井 修作さん



現場作業で苦労したこと

多くの作業者を効率的に動かすための調整

比較的規模の大きな現場でしたので1日20人、多いときは30人の作業者が従事していました。協力会社の方も多数いたため、作業者間の調整が大変でした。当社以外の職人の方などには強く指示できません。そのため円滑なコミュニケーションを維持するために配慮しなければならないことも数多くありました。

また短納期でしたので、24時間体制で人員を交代させながら対応する必要がありましたが、協力会社やグループ会社からも応援に来てもらい納期を守ることができました。そのほか、千葉駅前の繁華街ということで治安があまり良くないエリアだったため、外装工事などを行っている際にトラブルに巻き込まれないよう、慎重に作業を進めるよう注意しました。



現場の概要

施工事例: ピーパーク千葉改装工事

所在地: 千葉市中央区富士見2丁目4-5

施工期間: 2024年1月上旬~4月上旬

施工範囲: 7階建てのうち4階の改装および外装工事

この現場のこだわりポイント 各フロアの世界観を 創造するための統一感

正面入り口からの店内のイメージ、円形のパチンコ島にあるサインージュ、そして周辺ミラーをはじめとする装飾の仕上がりなどが、今回の施工のこだわりポイントです。1つの店舗、1つのフロアで統一されたイメージがありますので、独自の世界観に合うよう仕上げることに気をつけました。4階の場合はスロットのフロアで、やや暗くアンダーなイメージ。デジタルサインージュによる映像を駆使して、最も美しく映し出されるように、位置や角度の微調整を行いました。計算どおりに光が装飾物に当たって反射すると、その光がミラーに反射し、さらに美しく大きな映像が映し出されて、1つの世界が創造されます。

この現場で心がけたこと

協力会社も含めONE TEAMで顧客満足を目指す

今回の現場では、お客様、施主様、店員の皆さんなど、様々な方と接する仕事でしたので、挨拶の徹底を特に心がけました。また、お客様から質問や依頼を受けた際には丁寧かつスピーディに対応。私たちの仕事は大体メンバーが決まっていますので、ONE TEAMとして一致団結し「お客様ファースト」を意識しました。

そのほか、今後もまた協力会社の方々と一緒に働きますので、お互いに仕事について指摘し合ったとしても関係が悪くならないよう、日頃からコミュニケーションをしっかりと取って良好な関係づくりを心がけています。

頑張るあの人にエール

日々の業務の中で、黙々と力を尽くす方の姿に勇気づけられることはありませんか？
この企画では、そんな輝く「あの人」にスポットライトを当て、感謝と応援のメッセージを届けます。

エールを送りたい相手 /

To.

商環境本部 CS一部一課
課長

あら い しゅうさく
新井 修作さん

お二人のご関係

私は設計担当ですが、制作担当としてプロジェクトで関わることの多い仲間です。

新井さんのここがすごい！

万全な準備とコミュニケーション力です。現場では協力業者を取りまとめ、厳しい案件もしっかり完遂してくれます。難なく進めているように見えて、水面下でさまざまな努力をしているのだと思います。



応援メッセージ

今、またまた難易度の高いプロジェクトが動き始めています。今回もONE TEAMで乗り切りましょう。私も全面協力体制で臨みます！



From.

商環境本部 CSクリエイティブ部
副部長

かまた みつぐ
鎌田 貢さん

エールを送りたい相手 /

To.

おお の ひろ ゆき
專業本部 大野 弘之さん

お二人のご関係

配送管理をしていただいています。

大野さんのここがすごい！

日々、営業番頭をサポートしていただいています。休日、夜間問わず対応していただき本当に頭が上がりません。



応援メッセージ

緑の下の力持ちとして今後ともよろしく
お願いいたします。



From.

ハイブリッド課
課長

よし だ しょう
吉田 晶さん

となりのあの人、

週末なにしてる?!

自分時間を充実させ、ストレス発散などにも一役買ってくれる趣味。
これを読んだら、新しいことを始めたくなるかも?



CSクリエイティブ部 設計課

なみ き あ ゆ
並木 愛悠さん

私の趣味はお菓子作り

高校3年～専門学校1年の春休みに始めました。今では月に1～2回程度、材料も時間もあって気が向いたときにやっています!

きっかけ

専門学校入学前にコロナが流行して、授業が始まらず暇だった頃に始めました。当時、SNSでいろいろな人がお菓子のレシピを載せているのを見て、自分でもうまくできるかな、とやってみたことがきっかけです。



趣味にまつわるエピソード

嫌な気分はお菓子作りで発散!

コロナ禍では外出もできず、学校にもなかなか行けずに引きこもりがちになってしまいましたが、お菓子作りで憂鬱や未来に対する不安を解消していました。マカロン作りに挑戦して真っ黒焦げにしてしまった失敗も、今となっては良い思い出です(笑)それ以来挑戦していないマカロンに、今度リベンジしてみようと思っています!

ずばりこれ!//

趣味の魅力

達成感!

意外と簡単に作れるものも多いのですが、程良く工程があり、作り終えたときには達成感を得ることができます。

私の趣味はボランティア活動

大学のときに始めました。時間があるときに、ボランティアのイベントに参加しています。人のために行動することにやりがいを感じます。

きっかけ

大学の近くにある大きな病院からの献血の呼びかけをきっかけに、ボランティア活動に興味を持ちました。自分の行動が誰かの役に立つことを実感し、それ以降もさまざまなボランティア活動に積極的に参加しています。



專業本部 專業工事部 建材一課

チンヴァンイエンさん

趣味にまつわるエピソード

「ありがとう」が嬉しかった!

初めて献血をしたとき、少し緊張していたのですが、スタッフの方が優しく対応してくれて安心できました。終わった後に「ありがとう」と言われたのがとても印象に残っていて、嬉しかった思い出です。

ずばりこれ!//

趣味の魅力

小さな行動が大きな力になる場所!

自分の少しの行動でも誰かの命を救うことができると知り、強い感動を覚えました。大きなことをしなくても、人の役に立てることを実感し、「小さな行動が大きな力になる」という言葉がぴったりだと思います。